

7. 平成17年度 新任者教育講座

平成17年7月1日、(社)日本環境測定分析協会との共催で下記内容の新任者教育講座が開催されました。今期は17社33名と前年度を上回る参加者が受講されました。

場所：プラザ菜の花

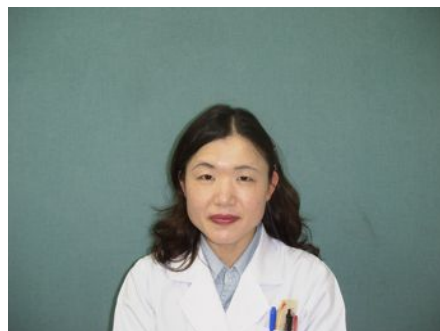
時間：9：30～16：00

- ①環境計量の仕事とは ((社)日本環境測定分析協会 北村 哲 氏)
- ②労働安全衛生 ((社)日本環境測定分析協会 北村 哲 氏)
- ③精度良い測定のためには (JFE テクノリサーチ (株) 岡野 隆志 氏)

No.	氏 名	事業所名	No.	氏 名	事業所名
1	中田和恵	イカリ消毒(株)	18	牧野高志	(株)東京化学分析センター
2	井俣 佳大	(株)上総環境調査センター	19	山崎允	(株)東京化学分析センター
3	濱名健太郎	(株)上総環境調査センター	20	森本俊哉	(株)東京化学分析センター
4	鮎川美由紀	(株)上総環境調査センター	21	鍋島裕也	(株)東京化学分析センター
5	上田郁	(株)上総環境調査センター	22	神所里美	(株)東京化学分析センター
6	大貫珠代	(株)環境管理センター	23	安倍秀任	(株)東京化学分析センター
7	濱野哲夫	キッコーマン(株)	24	関根裕	東電環境エンジニアリング(株)
8	三上公一	(株)三造試験センター	25	村上雅志	(株)住化分析センター
9	上遠野明久	(株)三造試験センター	26	黒田智恵美	(株)永山環境科学研究所
10	黒川晃那	(株)新日化環境エンジニアリング	27	小形実	(財)成田国際空港振興協会
11	永野寛高	(株)新日化環境エンジニアリング	28	今井靖子	日建環境テクノス(株)
12	中村顕一	住鋳テクノリサーチ(株)	29	中嶋陽一	(株)古河電工エンジニアリングサービス
13	篠崎裕二	(株)ダイワ	30	田中裕美	(株)ユーベック
14	市原浩之	(株)ダイワ	31	伊藤正之	(株)ユーベック
15	葉上恒嘉	中外テクノス(株)	32	最上博考	(株)ユーベック
16	濱田将都	中外テクノス(株)	33	佐藤一行	(株)ユーベック
17	渡辺知孝	(株)東京化学分析センター			

平成 17 年度新任者教育講座を終えて

イカリ消毒株式会社
中田 和恵



弊社は、環境分析と残留農薬などの食品分析の大きく分けて 2 種類の分析を行っています。私は、パートとして 5 年勤務しています。環境分析を主に 2 年ほど行い、現在は残留農薬分析の仕事も行っていきます。

勤務したての頃は、分析方法を教わり、その業務をただこなしている日々でしたが、近年は会社全体として、日頃行っている業務や広い分野において、通常業務に加え勉強会を行っています。

今回は、環境分析という原点にかえるテーマを歴史・背景などからお話があり、単なる分析・測定ではなく、測定値が重要な意味を持つものであることを再認識致しました。

精度に関するテーマは、自分にとっても現在重要なテーマであります。さまざまな分析において、業務をこなすことに精一杯なところがあり、精度や精確さには多少不十分なところがあると思います。

数値を「商品」としている以上、今後、自社において、又他社とのクロスチェック等をもっと盛んに行って精度の向上に努めて行きたいと思っております。最後に、本講座を開いてくださった関係者および講師の方々には心より感謝申し上げます。

平成 17 年度新任者教育講座を終えて

株式会社 ユーベック
伊 藤 正 之



「この金は何 kg だろう？」と、いように物質の量を測定するということは太古の昔から行われてきました。科学・文化の発展に伴い、分析手法はより正確に小さな値まで測定できるように進化してきました。環境計量の仕事は、その分析手法を用いて環境問題に取り組むことだと思います。

現在、環境問題が社会的に重要視され、それに伴い分析の対象、手法、目的もまた多様化しました。騒音・振動のように物質の量以外のものでも重要な環境測定の対象となることを学びました。

有害とされる物質の数も増え、環境中に様々な形で存在しています。人に害を与える可能性がある以上、かなり低い濃度でも、精度良く測定しなければなりません。

良い測定をする、良い分析者となる為に、各分析項目について正しいサンプリング方法からデータ解析までの一連の分析方法・原理を理解することが重要であると思います。

また、分析によって得られた値を基に様々な判断がなされます。その判断の結果が人々の生活、健康に悪影響を与えるものであってはなりません。私たちにとって重要なことは、正しい判断をする為の精度の良い測定を提供することです。新任者が先ず心がけることは、自分の行う分析について責任を持つという自覚だと思います。

これから私たち新任者は今現在最も足りない「経験」を積み重ね、精度の良い分析に関する知識を蓄えていかなければなりません。新任者講習は、私たちにとって、強い責任感を持って仕事をしていく、決意の場となりました。

最後に、本講座を開いてくださった関係者及び講師の方々に心より感謝申し上げます。